

## 2023年度 高等教育推進機構 国際教育研究部「多文化交流科目」概要

高等教育推進機構 国際教育研究部では「多文化交流科目」を以下の要領で実施します。

### 1. 目的

このコースは、日本人学生と外国人留学生が、あるテーマについてともに考えてともに話し合うことで、互いにことばへの理解を深め、大学で学ぶためのアカデミックスキルを高めていく「協働学習クラス」です。この授業は、日本語の学習を目的とはせず、日本人学生と外国人留学生による共同作業が中心になります。そのため、受講生にはクラス活動へのより積極的で主体的な参加が求められます。

### 2. 科目・時間割

#### 第1学期

科目名	日本語レベル	開講曜日／時間
日本における哲学と宗教	中級2以上	月3限／13:00～14:30
札幌をフィールドワークする	中級以上	月4限／14:45～16:15
世界の7000の言語と日本語	中級以上	火3限／13:00～14:30
多文化コミュニケーション講座	中級3以上	火4限／14:45～16:15
日本語で育つ子どもたち	中級3以上	火5限／16:30～18:00
日本語のコミュニケーションスタイル	中級3以上	水4限／14:45～16:15
教育について論じよう	上級以上	水5限／16:30～18:00
多様な人々と協働する	上級以上	木3限／13:00～14:30
考え方の技術	中級以上	木5限／16:30～18:00
「国際交流」を考える	上級以上	金2限／10:30～12:00
多文化共生入門ゼミ	中級以上	金5限／16:30～18:00

#### 第2学期

科目名	日本語レベル	開講曜日／時間
札幌をフィールドワークする	中級以上	月4限／14:45～16:15
知る・実践する日本語教育	中級以上	火3限／13:00～14:30
北海道大学を発見しよう	上級以上	火3限／13:00～14:30
多文化コミュニケーション講座	中級3以上	火4限／14:45～16:15
日本語で育つ子どもたち	中級3以上	火5限／16:30～18:00
日本語のコミュニケーションスタイル	中級3以上	水4限／14:45～16:15
考え方の技術	中級以上	木5限／16:30～18:00
「国際交流」を考える	上級以上	金2限／10:30～12:00
多文化共生入門ゼミ	中級以上	金5限／16:30～18:00

\*レベルの判定テストの結果、希望の科目を受講できないことがあります。

\*新型コロナウイルスの感染状況によっては、授業の実施形態を変更する可能性があります。

### 3. 開講期間

第1学期：2023年4月10日(月)～2023年8月7日(月) (土、日、国民の祝日を除く)

第2学期：2023年10月2日(月)～2024年2月6日(火) (土、日、国民の祝日を除く)

### 4. 教室

授業は、学生交流ステーション(北15条西8丁目)で行われます。ただし、一部の授業はキャンパスの別の建物(高等教育推進機構等)で行われます。教室はコース開始時に指示します。

## 5. 受講資格

以下の2点の条件を満たす者。

- (1) 本学に在籍する「外国人留学生」(留学ビザを持つ「研究生」「大学院生」「特別聴講学生」「特別研究学生」)あるいは、「外国人教員」「外国人研究員」であること。「聴講学生」「科目等履修生」「学部留学生」は多文化交流科目を受講できません。ただし、「学部留学生」は「一般教育演習(多文化交流科目)」として受講することができます。
- (2) 「多文化交流科目」を受講する上で必要な日本語能力を有していること。

## 6. 定員

各クラスの定員を最大20名としています。内訳は、原則として留学生10名、日本人学生10名を予定しています。定員を超えた場合の対応は、授業担当者が初回の授業で指示します。

## 7. 受講申し込み

【オンライン申し込み・プレースメントテスト受験期間】

第1学期：3月14日(火) 午後3時～3月28日(火) 午後3時 (日本時間)

第2学期：9月5日(火) 午後3時～9月19日(火) 午後3時 (日本時間)

「多文化交流科目」を受講される方は、全員、必ず受講申し込みをしてください。申し込みは、ホームページ(<https://jpnccourse.oia.hokudai.ac.jp/entry/>)からのみ受け付けます。上記申し込み期間の間に、申し込みをお済ませください。

## 8. プレースメントテスト

初めて「多文化交流科目」を受講する学生は、オンライン申し込みとプレースメントテストの受験が必要です。ただし、すでに多文化交流科目を受講したことがあるか、または希望する多文化交流科目が要求する日本語レベル以上の北大で開講する日本語科目を修了した学生は、オンライン申し込みだけで大丈夫です。プレースメントテストは、申し込みの期間と同じ期間にオンラインで行います。まずはホームページ(<https://jpnccourse.oia.hokudai.ac.jp/entry/>)から申し込みをしてください。その後、送信される申請完了メールの指示に従って受験してください。

注意

- (1) このテストは受験者の日本語力を測定するものです。不正行為をして、実力以上のクラスに配置され、結果的に不合格になる場合もあります。
- (2) プレースメントテストが不要な場合でも、オンライン申し込みは必要です。申し込みをしないと受講できません。

## 9. 受講可否の通知

受講クラス、時間、教室については、授業開始の前日までにメールで連絡します。

注意

- (1) 最終的なクラス配置は、過去の受講歴かプレースメントテストの成績によって決定します。必ずしも希望したクラスに配置されるわけではありません。「専門の授業と重なった」、あるいは「他の日本語クラスと重なった」等の理由で配置されたクラスを変更することはできません。
- (2) 各クラスの合格基準は、原則として出席70%以上、最終成績60%以上が必要です。

## 10. 問い合わせ先

多文化交流科目コーディネーター 青木麻衣子

E-mail: [japanese\\_courses@oia.hokudai.ac.jp](mailto:japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp)

# 「多文化交流科目」とは

## 留学生と日本人学生がともに日本語で学ぶ協働学習の授業です

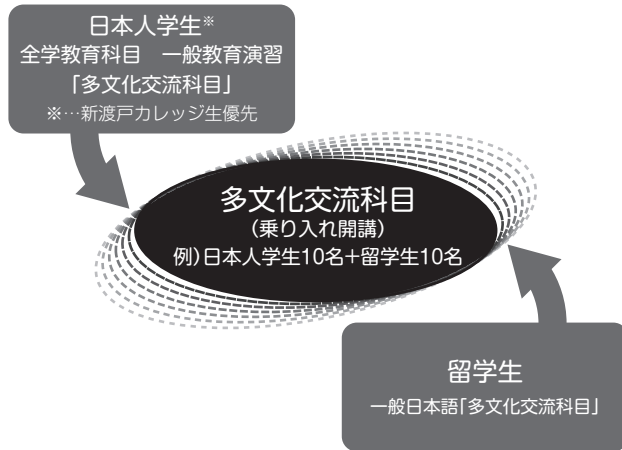
変化の激しい現代社会を生き抜くには、基礎的・専門的な知識を身につけるだけでなく、それらを活用し応用する能力が必要です。また、グローバル化の進む現在、様々な背景や文化を持つ人々と円滑にコミュニケーションをとるスキルが求められています。そのためには、異文化に対する理解や協調性・柔軟性が不可欠です。さらに、積極的に時代を切り拓くリーダーには、主体性や責任感、困難に直面した際の問題解決能力やチームワーク力なども必要です。

多文化交流科目は、日本人学生・留学生の混成クラスにより、意図的に「多様な背景を持った人々が集う環境」を創出し、受講者のみなさんに、現代社会で必要とされるスキルを育成する機会を提供するものです。

みなさんも一緒に授業を受けてみませんか？

### 多文化交流科目の特徴

- ▶ 多文化交流科目は、日本人学生と留学生がともに日本語で学ぶ問題解決型・プロジェクト型の授業です。
- ▶ 少人数の授業で、コミュニケーション力、異文化理解力、グループやチームで活動するスキル等の向上が図れます。
- ▶ 日本人学生（主として学部1・2年生）は、全学教育科目一般教育演習「多文化交流科目」を履修します。
- ▶ 留学生は、一般日本語「多文化交流科目」を履修します。



### 多文化交流科目で育成を目指すスキル

③ 解決に向け 実行する	<ul style="list-style-type: none"><li>・チームワーク</li><li>・リーダーシップ</li><li>・交渉力</li><li>・情報活用力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループやチームでの活動で自分の役割を見つけ、積極的に行動できる。</li><li>・互いに配慮しつつ、グループやチームでの活動を前進させることができる。</li><li>・互いの意見を尊重し、協力して課題に取り組むことができる。活動のなかで互いの妥協点を見つけることができる。</li><li>・収集した情報・資料を適切な方法で分析し、場面・目的に応じて活用することができる。</li></ul>
② ともに 考える	<ul style="list-style-type: none"><li>・ファシリテーション</li><li>・説得力</li><li>・論理的思考力</li><li>・ディスカッション</li><li>・コミュニケーション力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の意見をわかりやすく簡潔にまとめ、それをグループやチームで企画・運営につなげることができる。</li><li>・自分の意見を論理的に順序立てて伝え、相手を説得することができる。</li><li>・客観的なデータに基づき、自分の主張を論理的に組み立てることができる。</li><li>・グループで理解を共有し、議論することができる。</li><li>・相手の意見に対し、適切かつ柔軟に対応・質問することができる。</li></ul>
① 課題を 認識する	<ul style="list-style-type: none"><li>・分析力</li><li>・情報収集力</li><li>・多様性への気づき</li><li>・異文化理解</li><li>・課題発見</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・講義や他者の話を聞き、その内容を客観的に把握・理解することができる。</li><li>・適切な情報を検索・収集し、それを整理・精査することができる。</li><li>・異なる文化・価値観・態度を尊重することができる。</li><li>・自分の母語や文化について客観的に考えることができる。</li><li>・講義や自ら調べて得た情報を、身近な事柄に引き付けて考えることができる。また、その課題を指摘することができる。</li></ul>